

日本初のカーボンニュートラルGTL燃料の提供を開始しました

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：岡田賢二）は、脱炭素化への継続的な取り組みとして、Royal Dutch Shell plc.（以下「Shell」）の子会社である Shell MDS (Malaysia) Sdn Bhd（以下「Shell MDS」）とカーボンニュートラルGTL燃料の購入契約を締結したことをお知らせいたします。今回の契約は、日本市場で初めての試みとなります。

本契約は、当社がShellから、GTLの生産・輸送・製造・燃焼の工程を含むライフサイクル全体で発生する温室効果ガスをShellが保有するクレジット*1で相殺するGTLを購入するものです。

今回導入するカーボンニュートラルGTLは2021年10月より当社施設での使用を開始し、今後は順次販売を進めてまいります。

エネクスグループでは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給を行うとともに、今後も脱炭素社会の実現、環境負荷低減、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

*1: Shellがペルーのコルディリェラ・アズール国立公園プロジェクトなど、世界各地で展開する環境保全プロジェクトにおける温室効果ガス排出の回避あるいは削減効果を信頼性の高い検証機関がクレジットとして認証したもの。これらの環境保全プロジェクトは、土壌の保護、利用方法の改善、あるいは修復などを通じて、大気中の酸素を増やし、二酸化炭素を吸収します。本製品のライフサイクルCO2e (CO2 (二酸化炭素)、CH4 (メタン)、N2O (亜酸化窒素) をCO2換算したもの) 排出量は、検証された自然由来のカーボン・クレジットでオフセットされています。これは、より低排出のエネルギーソリューションに相当するものではありません。

<伊藤忠エネクス 執行役員 産業ビジネス部門長 千村裕史のコメント>

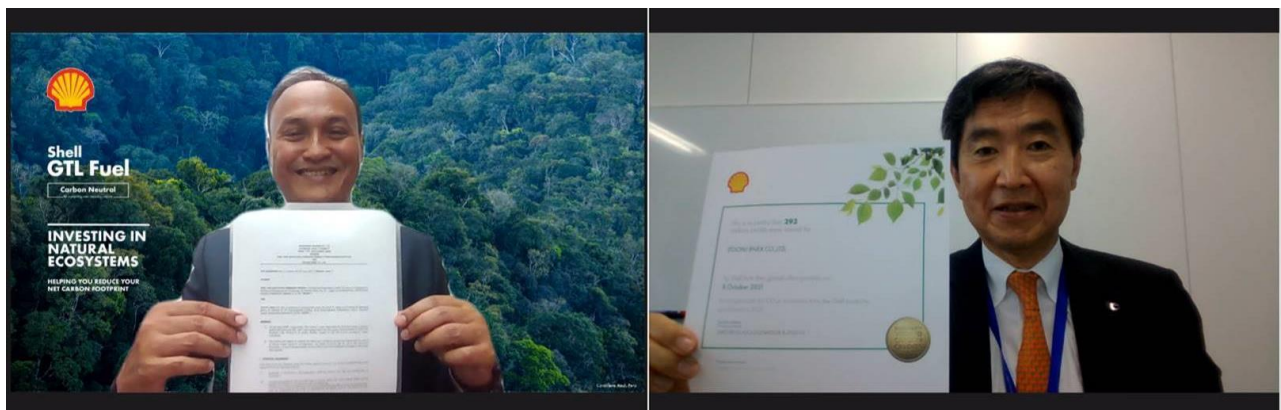
「GTL国内展開の戦略的パートナーとしてShell MDSと取組みを開始して4年が経過し新たなステージに差掛かっています。今回、新たな取り組みとしてカーボンニュートラルGTLの国内展開が図れることに喜びを感じています。Shellが提供するカーボンニュートラル商品の信頼性は高く、弊社の脱炭素化の取り組みにおける透明性の構築をサポートしてくれます。これが弊社がカーボンニュートラルなGTL燃料を採用する背景です。まずは、2021年10月より弊社自社使用分(袖ヶ浦アスファルト基地)のGTL燃料でカーボンニュートラルGTLの導入を開始し、今後順次販売を行ってまいります。」

<Shell MDS Vice President Amir Bakarのコメント>

「GTLのバリューチェーンを用いた排ガスを回避・削減する方法をさらに開発していく中で、お客様へ排ガス抑制にすぐに対応できるソリューションを提供できることを嬉しく思います。天然ガスを原料としたドロップイン燃料であるShellのGTL燃料は、従来の原油由来のディーゼル燃料よりもクリーンな燃焼を実現し、排ガスや粒子状物質の低減効果も図れます。高品質な自然由来のオフセットとしてGTL燃料を使用することは、ネットゼロを目指すお客様のエネルギーニーズの変化に対応するユニークで新しいソリューションです。

私たちの大切な取引先である伊藤忠エネクスには、日本でのこの新しいサービス導入にご協力いただき、大変感謝しております。」

<オンラインでの調印式の様子>



(写真左：Shell MDS Vice President Amir Bakar、右：当社産業ビジネス部門長 千村裕史)



『GTL 燃料』は無色透明・無臭の燃料

※GTL 燃料の特徴等、GTL 燃料の詳細につきましては[当社ホームページ](#)も合わせてご覧下さい。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 産業ビジネス部門 環境ビジネス部

GTL 室 TEL 03-4233-8073